

台風23号災害お見舞い号

まちづくり通信

発行 飛騨高山まちづくり本舗
住所 〒506-0845
高山市上二之町 44-4
電話&FAX 0577-33-5282
hompotakayamashishouren.net
http://www.takayamashishouren.net/d/

山がぬけた 川があふれた 土砂と濁流が流れる道 冷蔵庫が浮き 車が流れた ～ 猛威をふるった台風23号 ～

20日から21日にかけて飛騨を通過した台風23号は、一夜明け、被災地区と被害をまぬがれた地区との明暗をあらわにしました。同じ市内でも、また数メートルはなれているだけでもその被害の状況にはかなりの違いがあるようです。時間がたつにつれて、新聞やラジオで得る情報以外に、ボランティアに参加して、また個々に知り合いから得た情報で被害のようすが明らかになってきました。しかし、これまでよその地域でテレビの画面で目にしてきた、胸まで水につかるような状況が私たちのまちであったと聞いても、経験していなければどこかの話かと思うぐらいに温度差があるのが現実です。そんな中、ともに同じ地域に暮らす市民として、まずこの非常時をどうとらえ、そしてどう行動するかが、これからのまちづくりを考える上でも大事なことといえそうです。

家や仕事場、まちなかには想像のできない、市内各所(21日～23日)の状況をご紹介します。



▲苔川に落ちた川べりの倉庫。この地域にも多くの世帯に床下床上浸水がひろがった。現在、このあたりの道路は、土砂が乾いて車が通るたびに砂煙をあげている。



▲家屋にも押し寄せた土砂が積もる下切町の道路。日常が破られた暮らしの現場は、各所で泥との戦いのまっただ中。



▲樹木同様、電信柱も傾いた。携帯のカメラも大活躍する。



▲川を渡る線路には流れた草木がひっかかり、激しい増水の様子が想像される。堰堤はほぼ1kmにわたって決壊。川上川と宮川の合流点、親水公園の草の上には魚がうちあげられていた。



▲町内ですすめられた復旧作業。ボランティアセンターに手伝いの要請をし、協力を待つ江名子町(錦神社近く)の民家前。裏山が崩れ、泥水が坂道の下まで流れた。家の人は、夜は友人の家へ身を寄せ、早朝より作業をすすめているということ。ここより下流でかき集められた土砂は道のあちこちにうず高くつまれ山状になっていた。ボランティアが入り今は撤去された。土砂といっても、地域ごとに色も感触もちがうのがよくわかる。

災害と観光が交錯したまち

市内では、23日・24日と屋台特別曳き揃えが開催されました。台風で雨模様だった秋祭りとはうってかわって秋晴れに恵まれ、まちなかは多くの観光客が行き交いました。観光スポットとしておもてなしをする人たちがあると同時に、同じ被災地の空の下では、地域の人たちに市内外のボランティアが加わり、復旧作業がくりひろげられていました。21日に開設された「飛騨高山災害ボランティアセンター」では、開設期間を26日まで延ばしてボランティアを必要としている人とボランティアのできる人たちをつなぐ大きな役割りを果たしています。期間後は高山市社会福祉協議会(電話はそのまま33-0779)に引き継がれるとのこと。

災害の状況の把握ができにくい中、実際の現場を目撃し、直接確認されたという市民の方からの貴重な情報をいただきましたのでご紹介します。行方不明の方の捜索も25日現在継続されています。23日の新潟の地震情報などで高山の災害が埋もれてしまっている状況があります。まちづくり本舗では今後も情報の共有のためのお手伝いをしていけたらと思います。



▲屋台特別曳き揃えに観光客182,000人



▲土砂で崩壊した西之一色町の家屋



▲道が壊れ、歩道の橋も落ちた岡本町の河岸

災害情報(10月22日～25日) ※個人の方の収集によるものです。

<高山地区 床上100件、床下400件以上 死者2名 行方不明1名(10/22現在)>

江名子地区: 錦町土石流(幅50m長さ100m)家屋倒壊数件あり

錦山神社裏(幅30m長さ200m)家屋倒壊1件

荏名団地 民家数件が流される

西之一色地区:ピュア周辺地区 床上浸水10数件、床下浸水数十件
がけ崩れ崩壊 死者2名

片野1丁目地区:谷川の土石流 床上床下浸水数十件

森下町日枝神社下:床下浸水数十件

大新町八幡町地区:江名子川氾濫による床下浸水数十件

下林地区:川上川堤防決壊のため床上浸水十数件

岡本地区:(岡本郵便局近く) 橋脚流出 床下浸水

冬頭地区:床上床下浸水(1.2m)

本母地区:(花扇下)床上床下浸水(1m)

下切地区:床上・床下浸水(畑が川になり、かなりの被害が出ています)

赤保木地区 河川流出

下之切地区 川上川氾濫 堤防決壊約1km 床上浸水

<国府町 死者1名>

国府町今地区:土石流 1名死者

国府町三川地区: 床下浸水

国府町上広瀬地区:道路崩壊 床上浸水10数件 家屋崩壊数件
旧41道路堰堤崩壊、桜野公園駐車場流出

国府町村上地区:道路浸水の為崩壊

国府町 金桶 家屋倒壊数件

<古川町> 向町地区:床上床下浸水数十件

三之町地区:河川逆流による浸水

上町地区:(道の駅周辺) 宮川堤防氾濫による浸水、床下浸水

杉崎地区:床下浸水

上野地区(古川警察署付近):堤防氾濫による床上床下浸水

谷・信包地区:床下浸水

<河合町> 道路崩壊

<宮川町> 360号道路崩壊により打保地区より北地区、孤立状態

<清見村> 福寄地区:河川堤防決壊など

牧ヶ洞地区:別荘2件流出、床下浸水など

<馬瀬村> 道路崩壊、河川決壊(温泉の駐車場が崩壊したとのこと)

なお、高山の降水量は256mm、8時からの一時間に56mm(観測史上最高)でした。今回、川上川、すのり川の氾濫がすごかったようです。あと30分、長雨が続いたら、宮川の中橋が危ない状態でした

また、冬頭については、下水が混入した泥がまざっていて、ティッシュだのし尿だのが交ざった泥がついている状態だそうです。衛生面で今後も注意が必要です。今日、夕方には古川町では消毒がすでにされておりました。高山はまだです。

もし、お時間のある方、ボランティアに出来るだけいていただければと思います。予想をはるかに越える被害のすごさに驚かれます。

住民の皆さんは一日も早く以前の生活に戻ることを期待しておられます。(※一部省略)

[インターネット情報より 提供:せんだいもサン(高山市)]

まだ間に合う! ボランティア Q&A

Q. どうすればいいの?

→汚れてもいい服、長靴、ゴム手袋、防塵マスク、オル、飲み物、弁当などを持って26日までは市役所前テントのボランティアセンター窓口へ

Q. 出かけて行けませんが、他の協力の方法は?

→運営費のカンパもできます。

【受付口座】①飛騨信用組合 本店(普通)0774608

②高山信用金庫 本店(普通)1129051

飛騨高山災害ボランティアセンター代表 川上哲也

※お問合せ 0577-33-0779

飛騨高山災害ボランティアセンター

● 詳しい災害ボランティア情報

<http://www.15.ocn.ne.jp/~twelfarc/>

高山市社会福祉協議会

● 高山市災害対策本部からのお知らせ

(台風23号関係) <http://www.hida.jp/>

高山市役所

● 飛騨市の災害情報(画像あり)

<http://www.city.hida.gifu.jp>

飛騨市役所

● まちの掲示板としても利用できます

<http://www.takayamashishouren.net/d/>

まちづくりYYチャンネル(高山市商連ネット)

★ 市民の動きなど広く情報をお寄せ下さい

homo@takayamashishouren.net

飛騨高山まちづくり本舗 33-5282(FAX 兼)